



歴史の道みどりの拠点が完成

～高野街道、旧三日市宿をより魅力的に～

三日市小学校区まちづくり協議会（三日市地域の自治会等で構成）と河内長野市、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 は協働事業として「歴史の道みどりの拠点」を南海高野線三日市町駅近くに整備し、平成27年4月24日午前10時に除幕式が行われます。

歴史の道みどりの拠点とは、歴史ある道を人間の生活と自然の接点と捉え、緑あふれる空間を創造することにより、「自然と人間との共生」という理念の継承発展につながるとともに、人間にも自然にも魅力的な環境づくりを目指すものです。

河内長野市三日市地域は旧高野街道が通り、古くは三日市宿としてにぎわった場所。その歴史資源を生かすことで、住民の郷土愛を育む地域づくりを推進しようと花博記念協会の公募に応募し、選定されたものです。

拠点には、シンボルとなる石灯籠や樹木、高野街道の説明看板やベンチがおかれ、今後は樹木等の維持管理等を含め地域で守り、育てられ、住民の憩いの場所として提供されます。

除幕式

日時：平成27年4月24日（金）午前10時～

場所：河内長野市三日市町32番32

（南海高野線 三日市町駅すぐ）

地図・写真：別添のとおり

「歴史の道みどりの拠点」の地図と現場写真

